

# パートナーとの 新生活に関する調査2022

＜本件に関する問い合わせ先＞

マイナビウエディング マーケティング部

TEL : 03-6636-0661      MAIL : [wedding-contact@mynavi.jp](mailto:wedding-contact@mynavi.jp)

1. サマリー	P3
2. 調査概要と回答者属性	P4
3. 同棲・同居開始までの期間、開始理由	P5
4. 同棲・同居前後で【お金】をかけているもの	P6
5. 同棲・同居前後で【時間】をかけているもの	P8
6. 共同貯金について	P9
7. マーケティング部より解説	P11

## 《TOPICS》

- ◆ パートナーとの同棲・同居後は、「ファッション」「交際費」への出費が減り、「ふだんの食事」や「貯金・投資」へお金をかける人が増加。
- ◆ パートナーとの同棲・同居後は、ひとりの時間や友人と過ごす時間が減り、家族や家事の時間が大幅に増加。
- ◆ 共同貯金をしている人は約6割、そのうち既婚者は毎月の貯金額が「20万円以上」が最も多く15.8%。

## 同棲・同居開始までの期間、開始理由 P5

同棲・同居までの付き合い期間は3年半以上が最も多く23.3%。

同棲・同居開始理由は、「結婚が決まった」が40.4%が最多、次いで「結婚を前提として考えている」が38.2%。

## 同棲・同居前後で【お金】をかけているもの P6.7

「ふだんの食事」「貯金・投資」など二人の生活を豊かにするものが増加。一方で、「友人との交際費」「自分へのご褒美」「ファッション」など、自身にかける出費が全体的に減っている結果。

## 同棲・同居前後で【時間】をかけているもの P8

「家事」「料理をすること」など、自宅で過ごす時間が増加。一方、「親しい友人と過ごすこと」「ひとりで過ごすこと」「趣味」は減少しており、パートナーありきでの生活に変化している。

## 共同貯金について P9.10

共同貯金をしている割合は56.8%と半数以上。

20万以上が最も多く13.7%、次いで「1万～2万未満」「3万～4万未満」が12.2%。

共同貯金の目的は、未婚者は「将来のためや結婚資金」が多く、既婚者は「将来のため」「子供の資金」「老後資金」「住宅購入」が割合を占めた。

# 調査概要と回答者属性

## 調査概要

◆調査方法 インターネット調査

◆調査期間 2022年2月21日(月)～2月24日(木)

◆調査対象 2021年1月～12月に新たにパートナーと同棲・同居を始めて現在も同棲・同居している(未婚・既婚問わず) 20～39歳男女 463名

## 出典記入方法

弊社資料転載・引用につきましては、事前に弊社までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

## 回収概要

	N	%
男性20代	108	23.3%
男性30代	119	25.7%
女性20代	117	25.3%
女性30代	119	25.7%
<b>合計</b>	<b>463</b>	<b>100.0%</b>

	N	%
北海道	27	5.8%
東北	21	4.5%
甲信越	28	6.0%
関東	192	41.5%
東海	54	11.7%
関西	59	12.7%
四国・九州・沖縄	82	17.7%
<b>合計</b>	<b>463</b>	<b>100.0%</b>

	N	%
未婚	75	16.2%
有配偶(死別、離別含む)	388	83.8%
<b>合計</b>	<b>463</b>	<b>100.0%</b>

	N	%
会社員(総合職)	76	16.4%
会社員(一般職)	152	32.8%
会社役員	2	0.4%
会社経営	3	0.6%
公務員(教職員を除く)	24	5.2%
教職員	11	2.4%
医療関係者(病院経営・開業医含む)	20	4.3%
士業(公認会計士弁護士税理士司法書士)	2	0.4%
自営業	10	2.2%
契約社員	5	1.1%
派遣社員	7	1.5%
パート・アルバイト	53	11.4%
専業主婦/主夫	96	20.7%
その他	2	0.4%
<b>合計</b>	<b>463</b>	<b>100.0%</b>

	N	%
200万円未満	101	21.8%
200～300万円未満	39	8.4%
300～400万円未満	87	18.8%
400～500万円未満	93	20.1%
500～600万円未満	50	10.8%
600～700万円未満	53	11.4%
700～800万円未満	11	2.4%
800～900万円未満	14	3.0%
900～1000万円未満	6	1.3%
1000～1100万円未満	4	0.9%
1100～1200万円未満	0	0.0%
1200万以上	5	1.1%
<b>合計</b>	<b>463</b>	<b>100.0%</b>

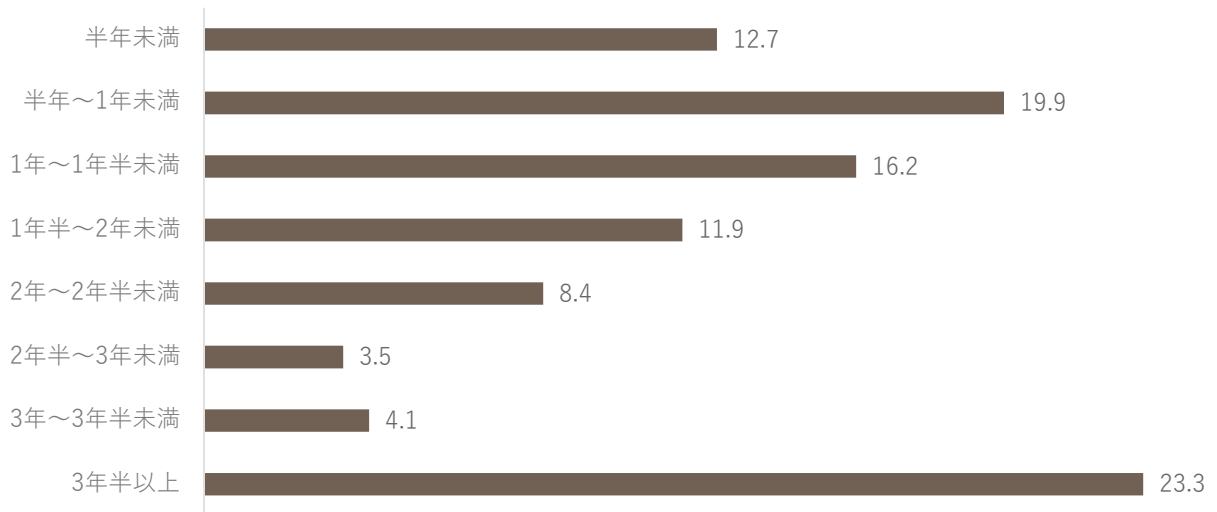
# 同棲・同居開始までの期間、開始理由

●同棲・同居までの付き合い期間は3年半以上が最も多く23.3%。

●同棲・同居開始理由は、「結婚が決まった」が40.4%が最多、次いで「結婚を前提として考えている」が38.2%。

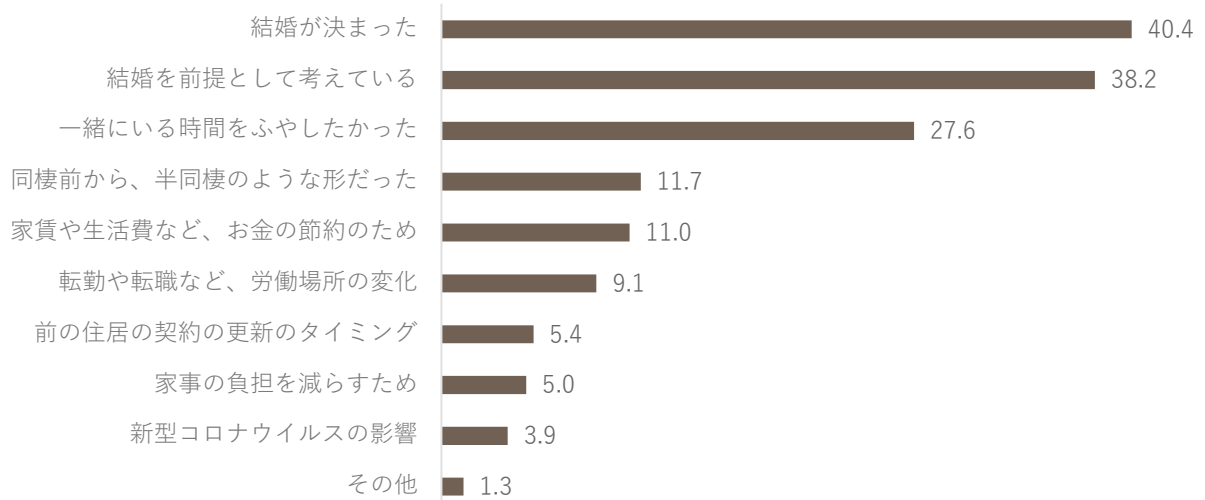
## 交際スタートしてから同棲・同居までの期間 [単一回答]

n=463 (%)



## 同棲・同居を始めた理由 [複数回答]

n=463 (%)



# 同棲・同居前後で【お金】をかけているもの

## ●同棲・同居後にお金をかけるようになったもの

1位「ふだんの食事」 +10.8pt、2位「貯金・投資」 +7.1pt、3位「家電品・インテリアなど住まい」 +5.0pt

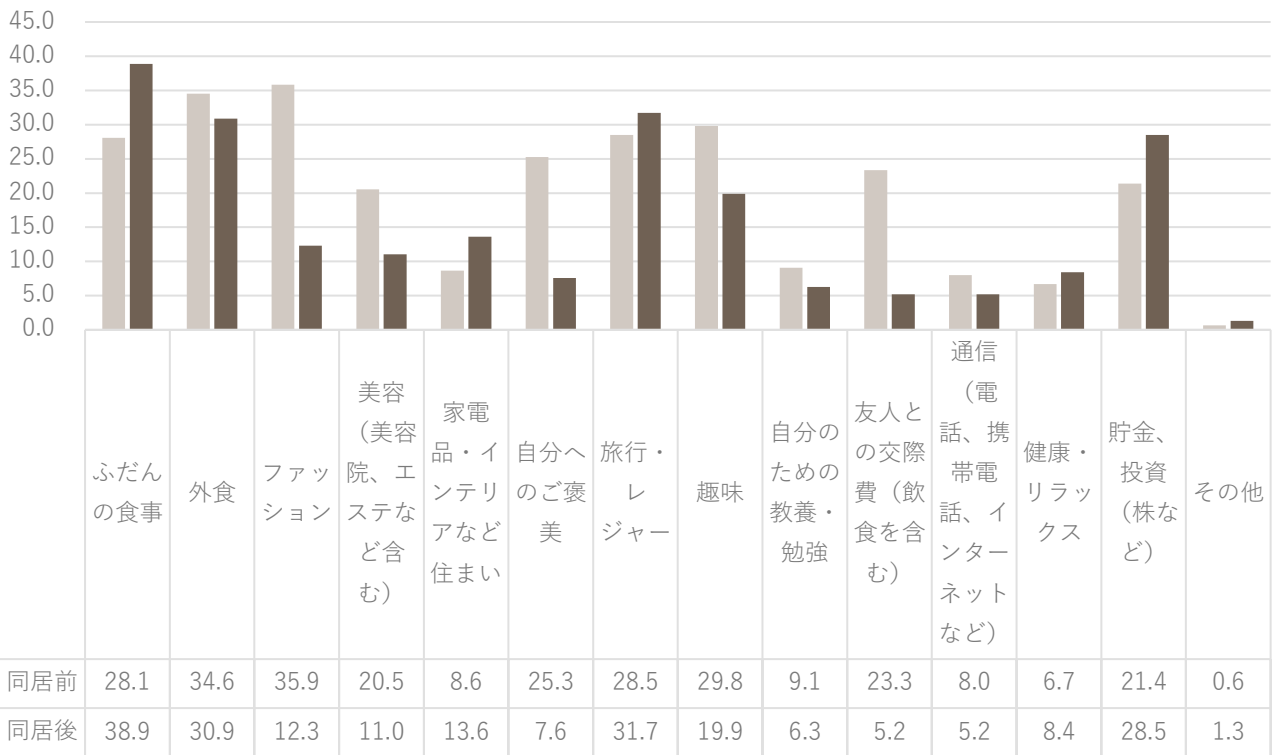
## ●同棲・同居後にお金をかけなくなったもの

1位「ファッション」 -23.5pt、2位「友人との交際費」 -18.1pt、3位「自分へのご褒美」 -17.7pt

「ふだんの食事」「貯金・投資」など二人の生活を豊かにするものが増加。一方で、「友人との交際費」「自分へのご褒美」「ファッション」など、自身にかかる出費が全体的に減っている結果。

## 同棲・同居前後で【お金】をかけているもの [複数回答]

n=463 (%)



# 同棲・同居前後で【お金】をかけているもの ～年代比較～

## ●同棲・同居後にお金をかけるようになったもの

20代は、「ふだんの食事」+9.3pt「旅行・レジャー」+8.0ptが増加

30代は、「ふだんの食事」+14.8pt「貯金・投資」+9.5ptが増加。

20代が「旅行・レジャー」が増加しているのに対し、30代は「貯金・投資」が増加。

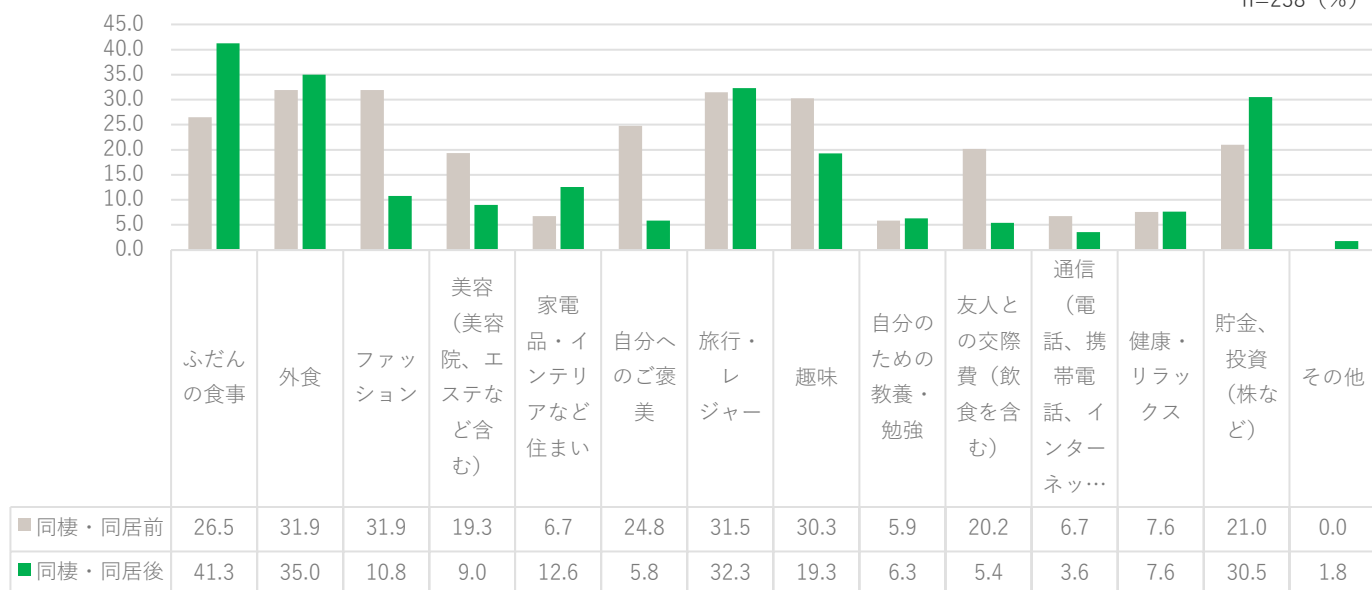
### 【20代】同棲・同居前後で【お金】をかけているもの [複数回答]

n=225 (%)



### 【30代】同棲・同居前後で【お金】をかけているもの [複数回答]

n=238 (%)



# 同棲・同居前後で【時間】をかけているもの

## ●同棲・同居後に時間をかけるようになったもの

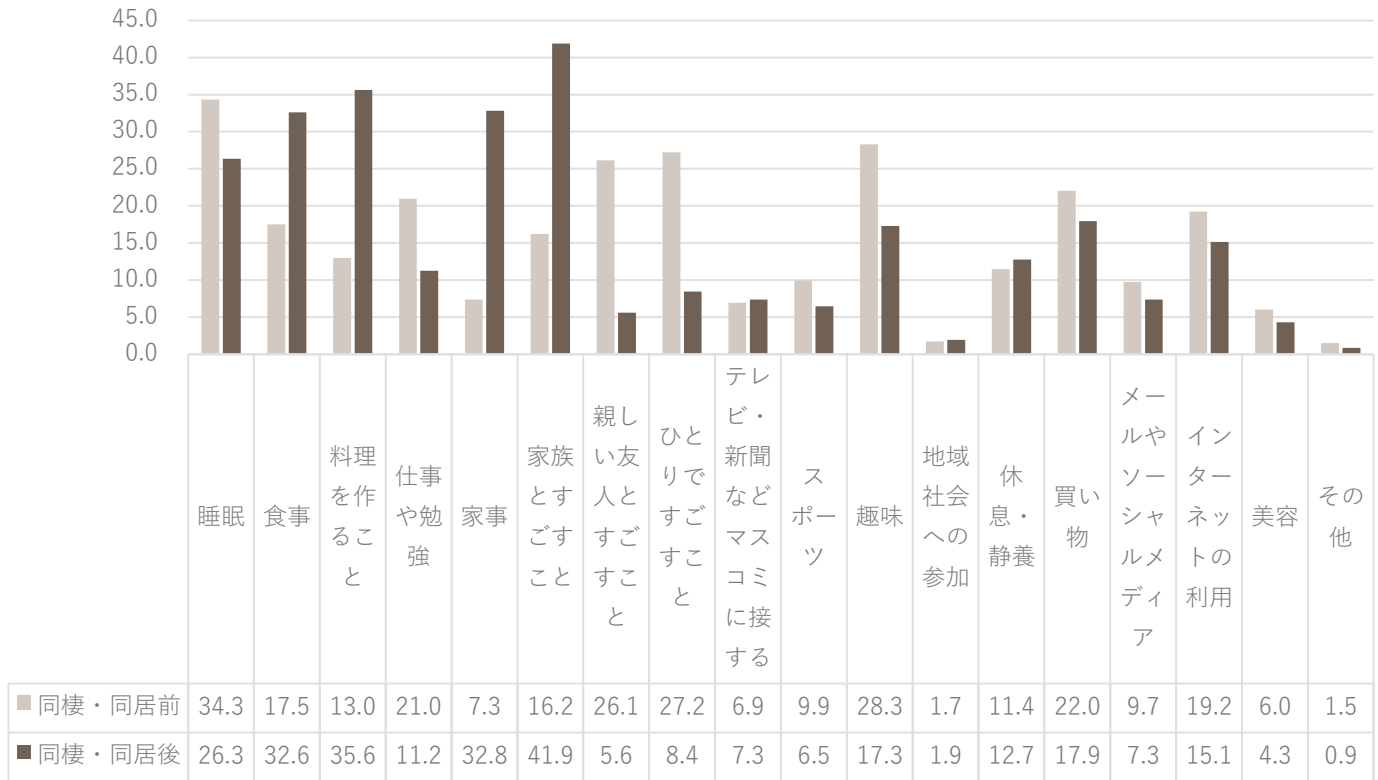
1位「家族と過ごすこと」+25.7pt、2位「家事」+25.5pt、3位「料理を作ること」+22.7pt

## ●同棲・同居後に時間をかけなくなったもの

1位「親しい友人と過ごすこと」-20.5pt、2位「ひとりで過ごすこと」-18.8pt、3位「趣味」-11.0pt。  
「家事」「料理を作ること」など、自宅で過ごす時間が増加。一方で、「親しい友人と過ごすこと」「ひとりで過ごすこと」「趣味」は減少しており、パートナーありきでの生活に変化している。

## 同棲・同居前後で【時間】をかけているもの [複数回答]

n=463 (%)





# 共同貯金について

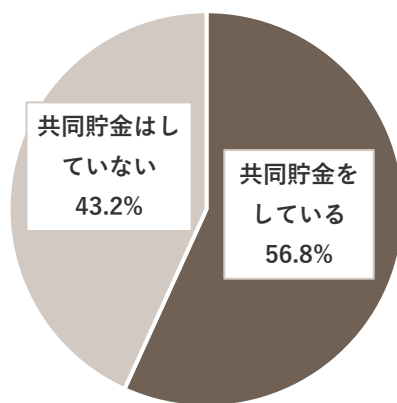
●共同貯金をしている割合は56.8%と半数以上。

20万以上が最も多く13.7%、次いで「1万～2万未満」「3万～4万未満」が12.2%。

●共同貯金の目的は、未婚者は「将来のためや結婚資金」が多く、既婚者は「将来のため」「子供の資金」「老後資金」「住宅購入」が割合を占めた。※P10

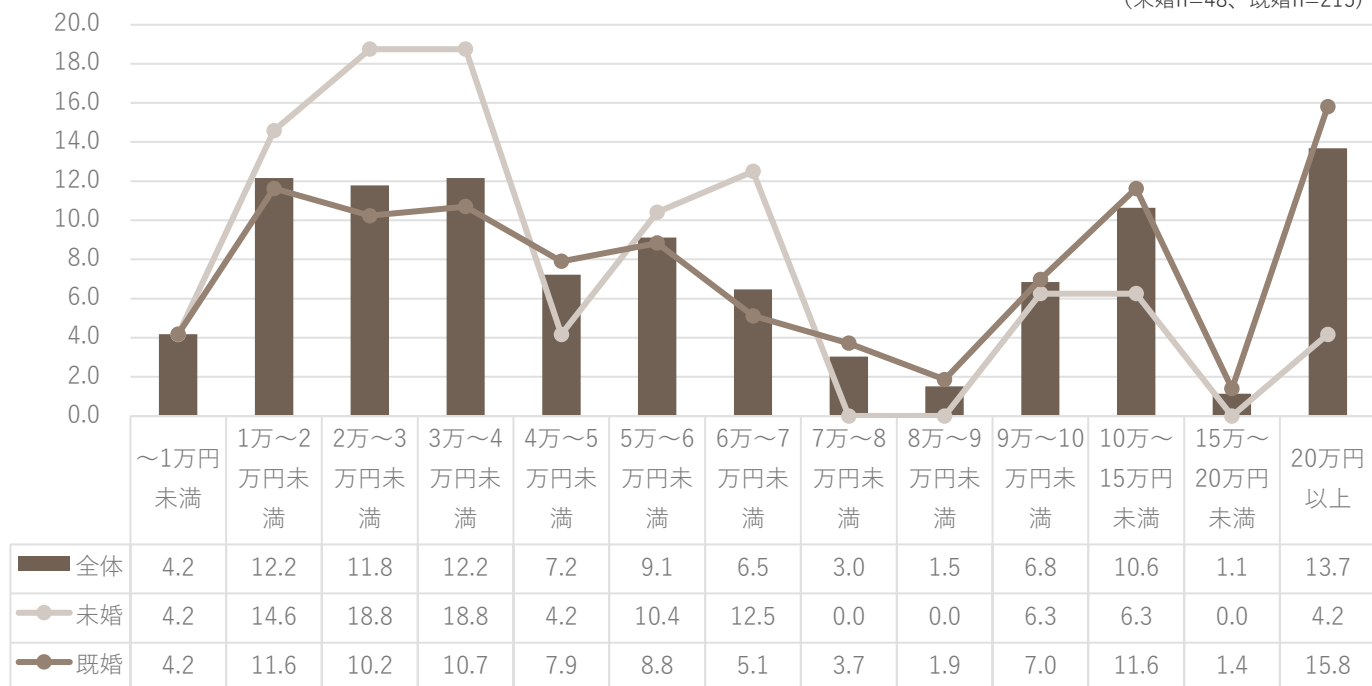
## 共同貯金について [単一回答]

n=463 (%)



## 共同貯金の毎月の貯金額 [単一回答]

共同貯金をしていると回答したn=263  
(未婚n=48、既婚n=215)



# 共同貯金について

共同貯金の目的について [自由記述] ※一部抜粋

## ◆将来のため

- ・将来的に妊娠出産や老後にお金が必要だと思うので、生活に必要な金額を計算しており、それ以上のお金を引き出さない。(4万～5万円未満、未婚)
- ・将来のために個人年金として保険会社と契約してためてる(3万～4万円未満、既婚)
- ・生活防衛資金確保のため、生活費はすべて自分(夫)が負担し黒字化するように調整している。その上で妻の給料から一定額を貯金するようにしている(10万～15万円未満、既婚)

## ◆結婚資金として

- ・結婚を前提としているのでそのために使わない分はそのまま貯めている。(2万～3万円未満、未婚)
- ・結婚や旅行資金のため、アプリで総資産を計算している(20万以上、未婚)

## ◆子ども、老後のため

- ・教育資金か老後資金に今後する予定で、毎月銀行に決まった額引き落としで貯金をしている(1万～2万円未満、既婚)
- ・目的は子供の将来のことと自分達の老後のため。方法は財形貯蓄、銀行預金。(6万～7万円未満、既婚)
- ・子供の教育資金、老後の資金。共同口座を作って残高が見える化。支出はアプリで管理。ジュニアニーサと投資信託をして資産を増やす。(20万以上、既婚)

# マイナビウエディング マーケティング部より解説

今回の調査は、2021年1月~2021年12月にパートナーと一緒に暮らし始めた方が対象となっています。今回の調査結果より、結婚や将来のことを具体的に考えたうえで、パートナーと同棲・同居を始めている割合が多いことがわかりました。

同棲・同居をはじめてからの変化では、自身にかかる出費が減少し、「ふだんの食事」や「家族と過ごす」時間が増加しているのは、コロナ禍で家での食事頻度が以前よりも増えたことも背景にあると思われます。また、20代は「旅行・レジャー」など2人の思い出づくりが増加している一方、30代では「貯金・投資」が増加しており、より結婚や将来のことを具体的に考える年齢になるにつれて、お金の使い方も変化していくことが伺えました。

さらに、共同貯金については約6割がしていると回答。

最も多かった額は毎月20万円以上という結果に驚きもありましたが、SNS等でもお金のやりくりについての情報発信も多く、銀行貯金だけではなく積み立てや投資等の方法など、色々な選択肢が増えてきている中で、同棲・同居を機にお金をやりくりするスキルや知識が高くなっているのではないのでしょうか。近年のマネーリテラシーの高まりにより、「本当に価値を感じるもの」を見極める工程に時間をかけることで節約につながったり、将来の財産を守るために、投資や資産運用の知識をつけようとする流れが主流になりつつあります。

そのような人たちは、例え貯金があっても無計画に使うことはせず、「何にどのくらいのお金がかかるのか」を明確にしたうえで購入をしたいという意識が強くなることが考えられるでしょう。

結婚や結婚式も人生の通過点の一つであり、調査からも結婚資金や結婚式の費用を予め用意している人はいることが伺えましたが、従来のような上り幅がある見積もりや、詳細が不明瞭な金額提示をされることに対し、より敏感になることが考えられます。

そのため、結婚式や住宅、保険等、結婚準備に関わる商材をご相談された場合には、おふたりの人生設計を伺ったうえで、どのくらいの費用をかけられるかを事前に聞いた上で、歩み寄った提案をすることが求められていくのだと思います。

マイナビウエディングでは、調査結果をもとに各種提案をさせていただいております。

ご掲載されている企業様には、「ブライダル集客サポネット」にて

さらに詳しい情報を随時発信中。

是非お気軽にお問い合わせください。

TEL : 03-6636-0661

MAIL : wedding-contact@mynavi.jp